

2018年度二国間交流事業・国際学術大会「東アジアで共感できる新たな近代性」概念の構築

日時：12月24日（月、祝日）～25日（火）

場所：東北大学川内南キャンパス 文科系総合講義棟（C19）

主催：東北大学日本思想史研究室

共同主幹：円光大学校宗教問題研究所、日本東アジア実学研究会

プログラム：

1日目 12月24日(月、祝日) 文科系総合講義棟 2F 経済学部第3小講義室		
09:00	開場	
09:20-09:50	開会辞・趣旨説明（片岡龍）	司会：片岡龍
09:50-10:00	韓国側挨拶（朴光洙）	通訳：崔多蔚
10:00-10:40	朴光洙：東アジア近代性の回顧と平和実現の課題－近代韓国民衆宗教の‘土着的近代化’と解冤相生思想を中心に－	司会：趙晟桓 通訳：柳生真 陳宗炫
10:40-11:20	北島義信：南アフリカにおける非暴力平和運動と近代日本・韓国の課題－サティヤーグラハ(Satyagraha)の思想と運動を中心に－	
11:20-12:00	板垣雄三：遷移する「革命」概念の超克－ムワーティン革命の背景考察のためのプログラミング－	
12:00-13:00	昼食（文科系総合講義棟 1F コモンスペース）	
13:00-13:40	尹丞容：平和と統一、そして近代性－更定儒道の‘解冤と開闢’の出会いを中心に－	司会：片岡龍 通訳：丁濟幘 崔多蔚
13:40-14:20	邊英浩：孫秉熙の思想の再評価	
14:20-15:20	元永常：宗教の社会的救済と韓国民衆宗教論に現れた社会参与の意味	
15:20-15:40	休憩	
15:40-16:20	朴奎泰：「もの」の思想家・李禹煥と近代批判	司会：邊英浩 通訳：陳宗炫 柳生真
16:20-17:00	片岡龍：人類の変革に向きあう日本の特性－狩野亨吉「安藤昌益」・宮崎滔天「革命問答」を中心に－	
17:00-17:40	趙晟桓：生命と近代－原州の生命学派を中心に－	
2日目 12月25日(火) 午前 文科系総合講義棟 2F 経済学部第3小講義室		
09:00	開場	
09:20-10:00	金在益：日常の靈化 一張壹淳とハンサリム運動を中心に－	司会：山内明美 通訳：陳宗炫 崔多蔚
10:00-10:40	朱琳：戦後日本における「土着的近代性」の発見－鶴見和子の内発的発展論の形成と発展を中心に－	
10:40-11:20	田哲厚：咸錫憲の非暴力平和思想	
11:20-12:00	佐々木隼相：鶴見俊輔「限界芸術論」にみる生活と芸術	
12:00-13:00	昼食（文科系総合講義棟 1F コモンスペース）	
午後 文科系総合講義棟 1F 105 会議室		
13:00-15:20	総合討論1（「近代性」再検討の視角 ① 人類の歴史は「暴力」か「平和」か、… ② 変革の主体は「自己」か「他者」か、…）	司会：片岡龍 通訳：柳生真、陳宗炫
15:20-15:40	休憩	
15:40-18:00	総合討論2（新たな「近代性」概念の構築 ① 東アジアとの共感 ② 人類・世界・宇宙との共振）	司会：邊英浩 通訳：丁濟幘、崔多蔚
19:00-21:00	懇親会（郷土料理「心平」022-263-7749）	

2018年度二国間交流事業・巡検

3日目 12月26日(水)		
09:00	ホテルリブマックス仙台青葉通（晩翠通り沿い、ローソン仙台大町一丁目店前）を出発	マイクロバス
10:10-11:10	栗原大林寺（安重根記念碑）を見学	
12:30-13:30	昼食（一ノ関「古戦場」）	昼食代：約 1,000 円
14:00-16:30	中尊寺を見学	拝観料：800 円
16:38-17:00	一ノ関駅に移動（公共バス）	バス代：約 400 円
17:14-18:33	八戸駅に移動（新幹線）	新幹線代：約 6,000 円
18:40-19:00	廿三日町に移動（公共バス）	バス代：約 300 円
19:10	グランパークホテルパネックス八戸に到着	宿泊費：約 5,000 円
4日目 12月27日(木)		
09:20	グランパークホテルパネックス八戸を出発	徒歩
09:30-11:00	安藤昌益資料館を見学	
11:00-12:00	安藤昌益資料館を出発	マイクロバス
12:00-12:50	昼食（道の駅おがわら湖）	昼食代：約 1,000 円
13:00-14:00	東北町歴史民俗資料館を見学	マイクロバス
15:00-16:00	六カ所村原燃 PR センターを見学	
17:30	八戸駅に到着	
18:12-19:45	八戸駅出発後（新幹線）、仙台青葉通一番町駅到着（地下鉄）	交通費：約 10,000 円